

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社 諸岡 九州営業所

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内共有、実践している。	●		ホームページ https://www.morooka.co.jp/company/vision にて経営理念を明文化し、経営者は会社のあるべき姿を全従業員に説明及び共有している。九州営業所長は、毎月の営業会議等で年度目標の進捗管理を行っている。									8	9									17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		ホームページ https://www.morooka.co.jp/privacypolicy にて法令遵守（プライバシーポリシー）の規定とマニュアルを全従業員に向けて発信し、対応窓口を設置している。																			16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		ホームページ https://www.morooka.co.jp/sitemap/compliance にてコンプライアンスポリシーを全従業員に向けて発信している。												10							16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		ホームページ https://www.morooka.co.jp/company/ecology にて経営方針・環境方針・品質方針・行動指針を定め組織体制を全従業員に発信している。																				16
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		取引先との共存共栄の取組や取引条件のしわ寄せ防止などについて、「パートナーシップ構築宣言」を公表している。 https://www.biz-partnership.jp/									8.2 8.3	9										16
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		ホームページ https://www.morooka.co.jp/privacypolicy にて法令遵守（プライバシーポリシー）の規定とマニュアルを全従業員に向けて発信し、対応窓口を設置している。																				16
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		定期的に諸岡協会の開催している。顧客へのアンケートを実施し、双方向コミュニケーションを取引先や行政機関などステークホルダーと連携した取組を進めている。																			16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		取引先との共存共栄の取組や取引条件のしわ寄せ防止などについて、「パートナーシップ構築宣言」を公表している。 https://www.biz-partnership.jp/					5				8		10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		九州営業所として、災害の経験を踏まえBCPを策定し、年2回の防災訓練を実施している。											9			11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●											8	9										17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●				1	2			5			8						12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内差別や人権侵害がないことを確認している。	●		就業規則にて差別やあらゆるハラスメントの禁止について就業規則に定めている。 ホームページ https://www.morooka.co.jp/company/esg にてESG（環境、社会、ガバナンス）に関する戦略的な取組みを推進し発信している。 九州営業所として、相談窓口（内部通報）を設置している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3									16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		本社の安全衛生委員会に属し、毎月労働安全衛生委員会に参加し、営業所内のパトロール等を実施している。 メンタルヘルスクエアを確保するため、社内の研修に参加し、営業所内で従業員への啓発活動を行っている。								8.8												
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		従業員（正社員・スタッフ・パート社員）の公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3										
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		健康経営・働き方推進委員会を設置し残業時間を把握し社内掲示板にて公表している。部門ごとに指導を行い、有給休暇の取得、育児休暇を推奨し職場環境を整えている。						5.5		8.5 8.8		10.3										
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		人的資本経営コンソーシアムに入会し、 https://hcm-consortium.go.jp/member_list#E 研修体制の整備や必要経費の支給により、外部研修の受講や各種資格の取得を奨励している。 良好な職場環境の醸成や部下の能力開発など、適切なマネジメントを実施できる管理職を育成するための教育を実施している。					4	5.5		8	9											
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		2021年より継続して健康経営優良法人（経済産業省）の認定を受けている。 感染症への注意喚起及び対策を実施し、社内課題である運動、睡眠、禁煙の健康への取組みを推進している。運動個別指導、健康診断やインフルエンザ予防接種又は、経費補助を実施している。 2021年よりピンクリボン運動を実施している。 https://www.morooka.co.jp/news/news-release/7811									8											17

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社 諸岡 九州営業所

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		ホームページ https://www.morooka.co.jp/company/esg/ にてESG（環境、社会、ガバナンス）に関する戦略的な取り組みを推進している。 2021年に本社所在地にてダイバーシティ宣言をしており、九州営業所として相談窓口（内部通報）を設置している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7				
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェビナー等導入している。		●	流行時は基本的な感染対策を徹底し、時差出勤やテレワークまたWEB会議を推奨している。			3					8	9.1		11	12								
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	本社では、DXプロジェクト体制を構築し、ITコーディネータ協会様より「DX推進企業奨励賞」を受賞している。 各営業所では稟議、精算手続きやパーツリスト・カタログ等の電子化を進めている。								8	9.1		11	12								
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●					3	4				8	9			12							
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		ISO14001取得し、EMSによる全社的なマネジメント体制を九州営業所員も内部監査員研修に参加し、ISO監査に従事している。			3.9			6.3					11.6	12.4			14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		オン株式会社「サプライチェーン排出量自動算定ソフトウェア/システム」を活用し、GHGプロトコルに準拠したScope1~3全範囲のエネルギー使用量を見える化している。 エネルギー使用量の削減に向けて、社用車のEV車や低公害車への切替等各種施策を実施している。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		オン株式会社「サプライチェーン排出量自動算定ソフトウェア/システム」を活用し、GHGプロトコルに準拠したScope1~3全範囲の温室効果ガス排出量を見える化している。 CO2排出量の削減に向けて、GXリーグ構想に参画する等、各種施策を実施している。		2.4							7.2 7.3 7.a			12.4	13		14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		事業及び従業員の活動において、ペットボトルの分別等を行い、環境に配慮し生物多様性の保全に取り組んでいる。						6.6										14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		再生紙の利用と裏紙の利用を推進しペーパーレス化、ゴミの分別による3Rを推進している。 環境に配慮した材料、製品、サービスの提供を通じて、環境保全に取り組み、資源利用の削減や再利用を推進している。									9.4				12.2 12.4 12.5			14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		マイボトルの持参に取り組んでいる。産地地消のウォーターサーバーを利用している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5					14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		紙やダンボール再利用の促進による省資源化を推奨し、エコ商品の購入をしている。 木材のリサイクルに関わる製品等、環境機械の開発製造及び利用を促進している。 製造から廃棄に至るまでを考慮した、環境負荷低減型の製品開発・販売をしている。									9.4				12.4 12.5	13		14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●			1	2				6.4							12.3			14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●													11.6 11.7			13.1 13.3			15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	「トラッキング付非化石証書」を活用した電気を調達している。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4				11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●	木材破砕機を製造・販売し、間伐材の利用を提案している。						6							11.3 11.4 11.5	12.2	13			15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●	自社製品のフォワーダの製造・販売によって植林や苗木の運搬に貢献している。						6.1 6.3 6.6							11.3 11.4 11.5	12.2	13			15		
34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●															12.2 12.5			14				
35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●												9.4			11.2			13.1 13.3				

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社 諸岡 九州営業所

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●	オンド株式会社の「サプライチェーン排出量自動算定ソフトウェア/システム」を活用し、GHGプロトコルに準拠したScope1・3全範囲の温室効果ガス排出量を見る化している。 JKクレジットの購入等により、21年度比20%削減に取り組んでいる。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		ホームページ https://www.morooka.co.jp/company/ecology/ にて品質方針を定め配信している。ISO9001取得し、品質マネジメントシステムを構築し、品質方針に基づいた事業活動に取組み、毎月品質会議を開催し顧客の意見等を共有している。 また、製品の安全確保を踏まえた取り扱い説明書を作成している。			3.9							9			12.4							
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		営業所事務所、出入りにMOROOKAの看板を表示して明確化している。 出入り口はアクセスしやすいスペースと大きさを確保している。										9.1	10	11.7							17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15				17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7							12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15			17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		地域発展の為、森林組合、地元の林業関係者へ技能講師、安全教育的資格を活かして特別教育を実施している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		震度5弱以上の地震情報を入手した場合、セコム安否確認サービスにて、全従業員に情報を発信し、安否・現地状況の報告を受け、追加指示等発信している。安否確認サービスは、テスト配信を行い、報告を受ける訓練も実施している。				4								11.5		13.1				16		
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●			1.5		3	4								10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	災害停電地域・孤立地域へ迅速に電力供給を可能にすることを目的に、ゴムクローラ式移動電源車を東京電機と共同開発した。											9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	従業員へはSDGsについて、社内掲示板やホームページ https://www.morooka.co.jp/company/esg/ にて配信及びゲームを通じた交流会を開催している。 SDGsのマンガ・動画を作成し、従業員をはじめステークホルダーの皆様へも啓蒙活動を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●						4					8.6		10.2								17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●						4.4						8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15			17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。